

# 平成27年度 「ふれあい地域懇談会」報告書

## ＜ 腰 越 地 域 ＞

日 時	平成27年7月16日（木） 午後2時～4時
場 所	腰越支所 多目的室
出 席 者	自治・町内会代表 12団体：12名 地域団体代表 7団体：7名 計23名 鎌倉市 4名
内 容	<p>第 1 部 市長からの説明 ..... P. 1 ①長寿社会のまちづくり ②ごみ減量・資源化の取組み等について</p> <p>第 2 部 地域の懸案事項に関する報告 ..... P. 23 ①腰越地域老人福祉センター建設について ②腰越子ども会館・子どもの家の建設について ③腰越駅周辺の放置自転車対策について ④空き家対策について ⑤街路照明灯への防犯カメラの設置について ⑥腰越電車通りのカラー舗装について</p> <p>第 3 部 本年度の地域の議題に関する懇談 ..... P. 33 ①国道134号線腰越橋の歩道橋設置等について ②国道134号線鎌校前の拡幅工事の進捗状況について ③ゴミの戸別収集モデル地区の現状と今後の対応について</p> <p>付 録 当日配布資料 ..... P. 49</p>



出席者名簿（敬称略）

【自治会・町内会等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	中原町内会	山崎 一雄	会長
2	下町町内会	杉山 昌鎮	会長
3	土橋町内会	伊東 久夫	
4	神戸町内会	浅井 弘道	会長
5	浜上町内会	野村 修平	会長
6	津町内会	石井 信	会長(司会)
7	七里ガ浜町内会	中原 攻	会長
8	七里ガ浜二丁目自治会	白井 誠一	会長
9	七里ガ浜自治会	五十嵐 昭次	会長
10	諏訪ヶ谷町内会	梶原 秀夫	会長
11	鎌倉グランドエステイツ自治会	北見 千恵子	会長
12	鎌倉白山坂自治会	後藤 武久	会長

【その他の団体等】

	団 体 名	氏 名	備 考
1	腰越地区社会福祉協議会	小川 和治	
2	民生委員児童委員協議会第四地区	菅井 克男	
3	七里ガ浜小地区スポーツ振興会	遠藤 勝利	
4	腰越まちづくり市民懇話会	檜本 利夫	
5	鎌倉市老人クラブ連合会腰越地区	内田 昭三	
6	保護司	井上 全康	
7	腰越中学校PTA	井上 全信	

【鎌倉市】

	役 職	氏 名	備 考
1	鎌倉市長	松尾 崇	
2	経営企画部長	比留間 彰	
3	環境部長	石井 康則	
4	都市整備部次長	伊藤 昌裕	

# 第1部 市長からの説明

## 【全地域共通】

平成27年度 ふれあい地域懇談会

### 長寿社会のまちづくり

－ 「まちづくり」から「まち育て」へ －

1

- ・長寿社会のまちづくり
- ・ごみ減量・資源化等の取組み
- ・第1部に関する質疑応答

## 本日のテーマ

- (1) 長寿社会のまちづくりの取組状況について
- (2) 長寿社会のまちづくりの課題について
- (3) 長寿社会のまちづくりの今後について

自治・町内会の皆さんと一緒に取組む  
「新しいまちづくり」のあり方

2

平成23年度から今泉台住宅地の皆さんと取組んでおります「長寿社会のまちづくり」についてご紹介し、今後、自治町内会の皆さんと一緒に取組んでいく、「新しいまちづくり」のあり方について説明させていただきます。

## 長寿社会のまちづくりとは

高齢者のためのまち



多世代が住み慣れた地域で安心して  
住み続けられる **「持続可能なまち」**



3

「長寿社会のまちづくり」と言いますと、「高齢者のためのまちづくり」と思う方もいらっしゃるかもしれませんが、この取組の主旨は、「多世代が住み慣れた地域で安心して住み続けられる持続可能なまち」の実現であります。

## 取組状況 -どのような「まち」にしたいか-

開発当初のまち（1965年）

数十年後のまち（2015年）



図出典 東京は郊外から消えていく！

▶ まち開きから数十年が経過し、高齢化に伴い、様々な課題が生じている

4

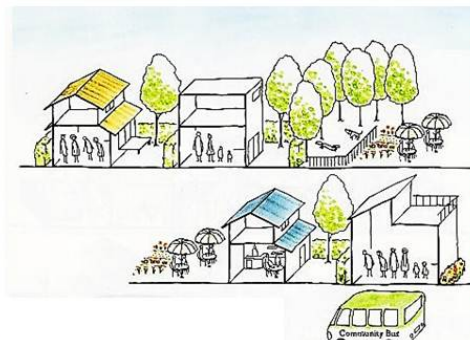
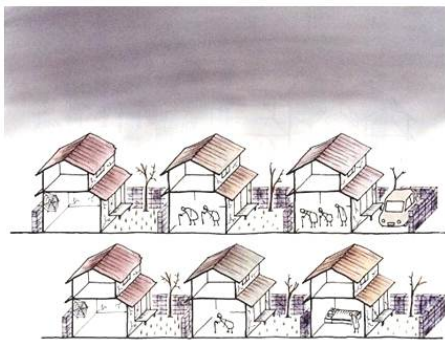
鎌倉市内にある、今泉台のような郊外型住宅地の多くは、まち開きから数十年が経ち、高齢化に伴い、これまでにはなかった様々な課題が生じています。

## 取組状況 -どのような「まち」にしたいか-

### 15年後はどっち？

魅力がなくなったまち（2030年）

目指すべきまち（2030年）



図出典 東京は郊外から消えていく！

若い人も含め、多世代が住み続け、まち全体が活気づいている姿へ

5

今泉台では、将来の目指すべきまちの姿を地域で話し合い、右の図のように、若い人も含め、多世代が住み続け、まち全体が活気のある姿を目指して、様々な取組みを試みてきました。

## 取組状況 - 持続可能なコミュニティづくり -

### 郊外型住宅地の課題は、将来の「鎌倉市」の課題？



#### 自治・町内会では

少子高齢化により・・・

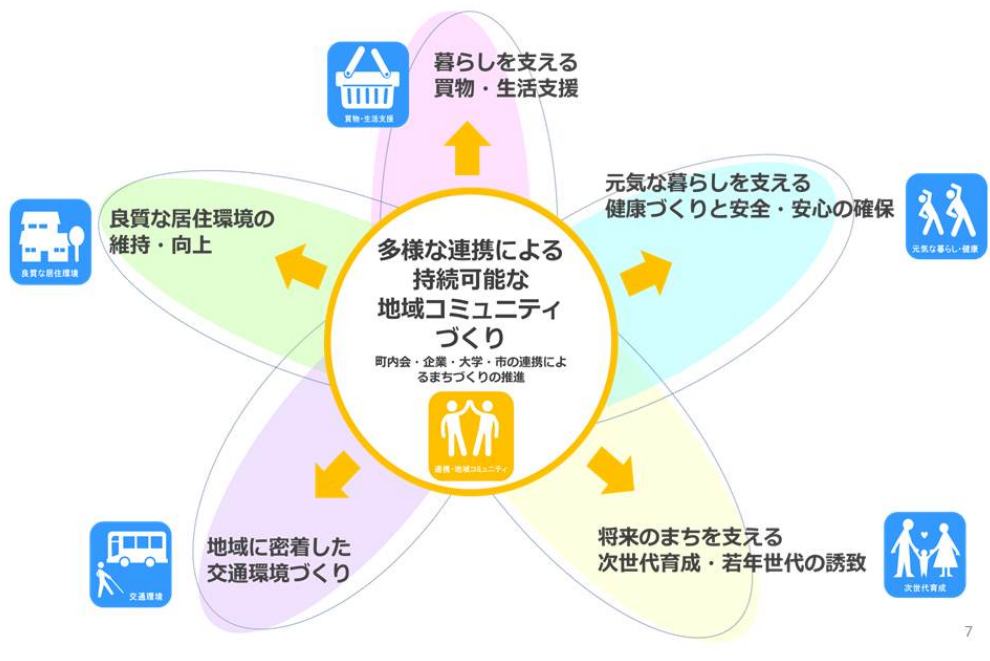
- 役員の担い手不足（ボランティア活動の限界）
- 活動資金不足（会費徴収の限界）
- 継続的な活動の難しさ（役員任期等）

6

まず、最初に着手したのが課題整理です。高齢化した郊外住宅地では、高齢者の「買物生活支援」や「健康づくり」、増加する空家・空地の管理などに関する様々な課題があります。

特に、地域活動の担い手不足は深刻で、これまで地域を支えてきた自治・町内会組織のあり方を含めた、地域コミュニティの持続性が問われています。これは、将来の鎌倉市全体が向き合わなくてはならない未来の姿でもあります。

## 取組状況 - 持続可能なコミュニティづくり -



7

そこで、今泉台では「持続可能な地域コミュニティ」を育てることが、課題の解決につながるとして、様々なイベントを行いながら、「地域のことを地域で解決していく仕組みづくり」に取り組んできました。

## 取組状況 - 持続可能なコミュニティづくり -



こちらの写真は、実際に実施したイベント内容の一部です。コミュニティスペースを整備し、子ども達と将来のまちを一緒に考えるワークショップなどを行いながら、徐々に地域のネットワークを広げ、ともに「まちづくり」を行う、活動の担い手を増やしていきました。

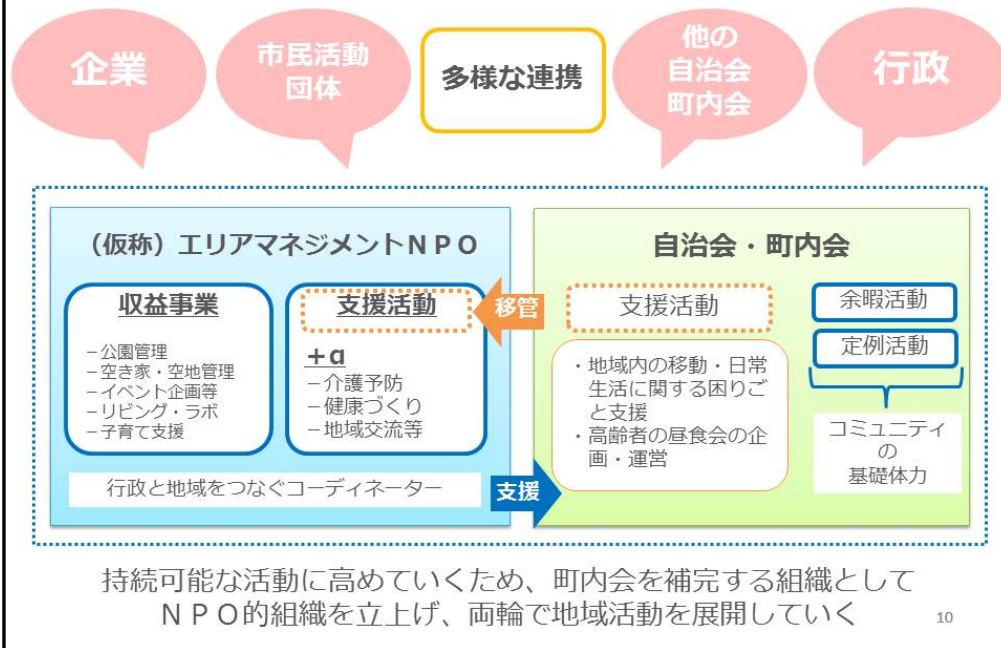
## 取組状況 - 郊外型住宅地における価値の移り変わり -



「長寿社会のまちづくり」とは、時間とともに価値観が変化し、まちの魅力が低下することを防ぐため、「コミュニティの力」でまちを育て、「まちの魅力を引き上げていくこと」を目指したものであり、こうした「住民自らがまちを維持・管理し、育てる」取組みのことで。



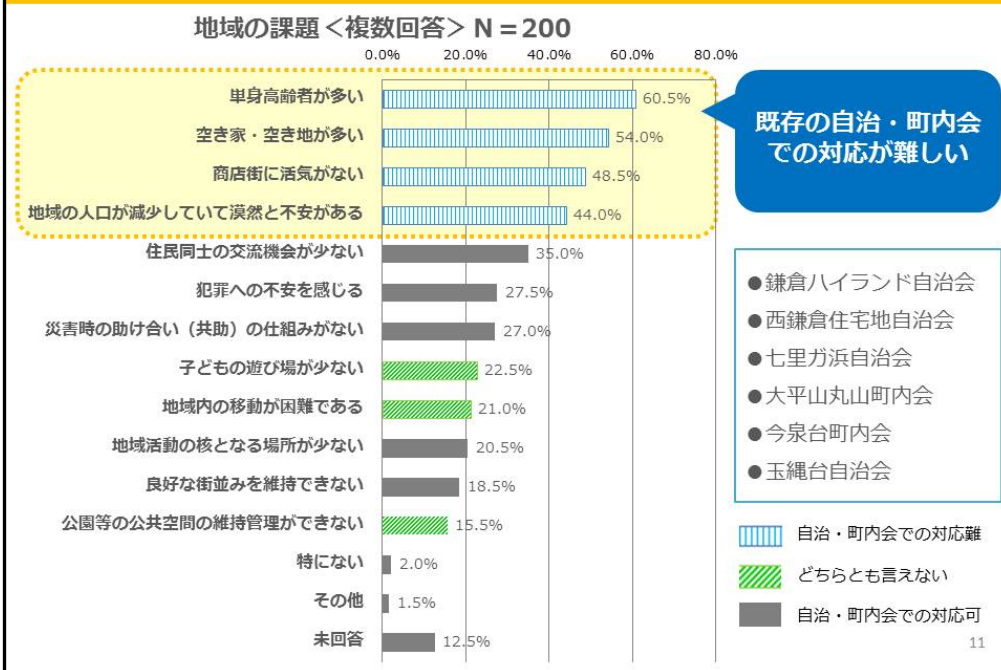
## 取組状況 - 持続可能なコミュニティづくり -



この、まちを育てる仕組みとして、今泉台では、現在、既存の町内会組織のマンパワーや資金不足などを補完するNPO法人を立ち上げ、町内会と両輪で持続的に地域活動を展開していくという、新しいコミュニティモデルが確立されつつあります。

必ずしも、NPO法人を立ち上げなければならないわけではなく、既存の自治町内会で部会をつかった、市民活動団体や民間企業と連携する方法もありますが、市としては、このモデルを好事例の1つとして、サポートしていきたいと考えています。

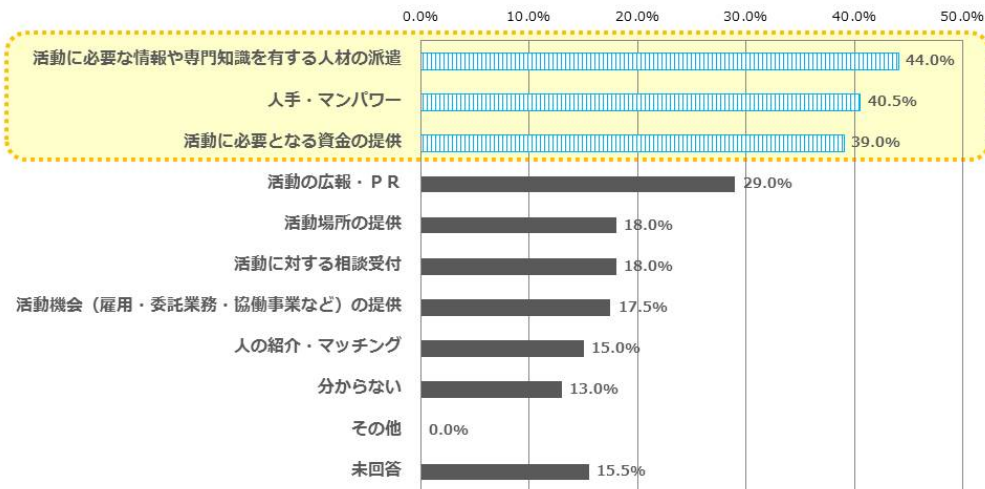
## 課題 - 地域の課題 (アンケート調査) -



他の同様の郊外型住宅地にもアンケートやヒアリング調査を行いましたので、簡単にご紹介します。地域の課題としては、「単身高齢者が多い」「空き家・空き地が多い」などが上位に挙げられており、これら上位の課題は、既存の自治・町内会では対応が難しいとするご意見が多くありました。

## 課題 – まちを育てるのに必要な支援（アンケート調査） –

### 課題解決のために必要な支援＜複数回答＞



課題解決のために「専門知識・人材・資金」が必要

12

また、まちを育てることに必要な支援策としては、「活動に必要な情報や専門知識を有する人材の派遣」「人手・マンパワー」「活動に必要な資金の提供」が上位に挙げられています。

## 課題 – 自治・町内会の課題（ヒアリング調査） –

### 自治・町内会の課題

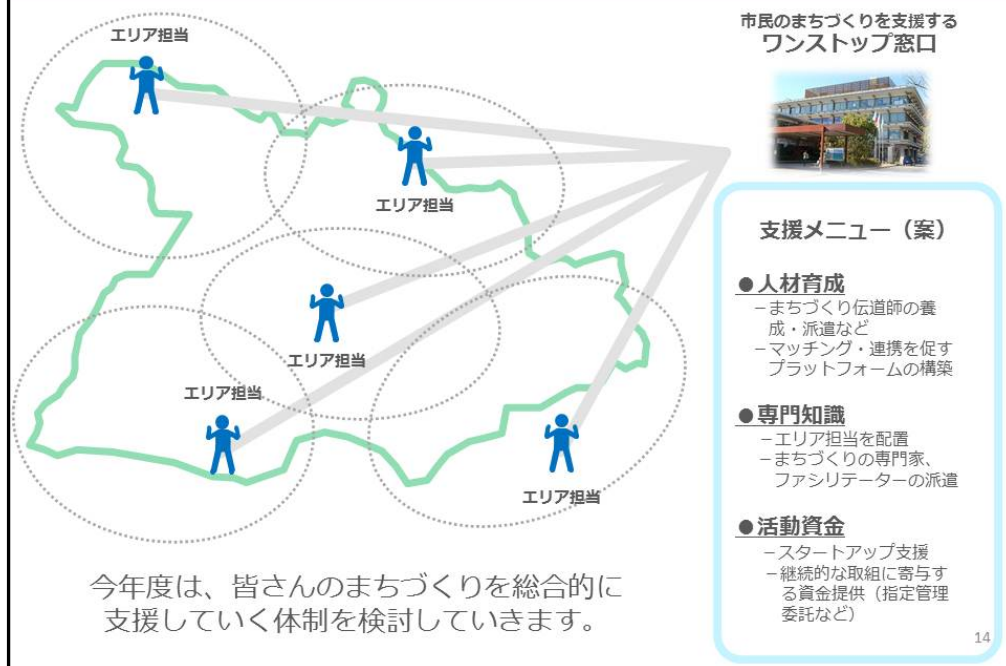
- ▶ **現在の組織のあり方や活動の仕組み自体が課題**
  - 担い手不足（ボランティア活動の限界）・継続的な活動（役員任期）・活動資金の捻出（会費徴収の限界）
- ▶ **新たな担い手の発掘・育成**
  - 役員の高齢化・組織の世代交代の時期
  - 若い世代の生活は「共働き」が多く地域活動に参加しにくい
- ▶ **多様化・専門化した新たな地域課題への対応**
  - 専門的知識・技術のあるメンバー・資金の獲得
  - 地域内のセミプロへの謝礼工面
- ▶ **地域ルール（住民協定・建築協定等）の見直し**
  - 良好な住宅地を維持するために住民自身で定めたルール（敷地分割・用途の制限）が若い世代のライフスタイルやニーズに合っていない

地域課題解決の先送りが難しい段階にきている

13

ヒアリング調査でも、活動の担い手不足などから、既存の自治・町内会組織の継続性が懸念され、組織のあり方や活動の仕組み自体に課題を感じている地域が多くあることが分かりました。

## 今後 - 「まちを育てる」活動を支援していくために -



そこで、今年度、皆さんのまちづくりを支援する「総合窓口」を設けたり、各地域にエリア担当を配置したりするなど、皆さんの主体的な活動を総合的にバックアップしていく体制整備を検討していきます。

市民の皆さんのまちへの思いやまちづくりの熱意に対して、市も一緒に向き合い、ともによいまちを育てていきたいと考えておりますので、今後も、ご協力をよろしくお願いいたします。

# ごみ減量・資源化等の取り組み

平成27年7月 ふれあい地域懇談会

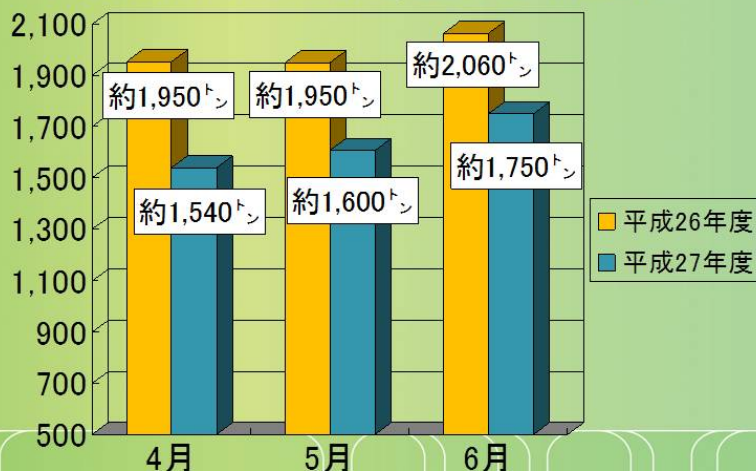
続きまして、ごみ減量・資源化等の取組みについてご説明いたします。

4月1日から開始した有料化においては、自治・町内会をはじめ市民の方々のご協力により、大きな混乱なく実施されておりますことに、改めて御礼申し上げます。

## 有料化の実施状況①

- 収集量・・・前年同月比で平均約18%削減

年間削減率14%、3,500トン(推計)



実施状況についてご報告しますと、

収集量は4月から6月までの前年同月比で平均約18%削減されています。現在の実績を踏まえると、平成27年度の有料化による燃やすごみの削減率は14%と推計し、燃やすごみの削減量は年間約3,500トンを見込んでいます。

## 有料化の実施状況②

- 有料袋不使用率は減少傾向

有料袋を使用していないごみの排出状況

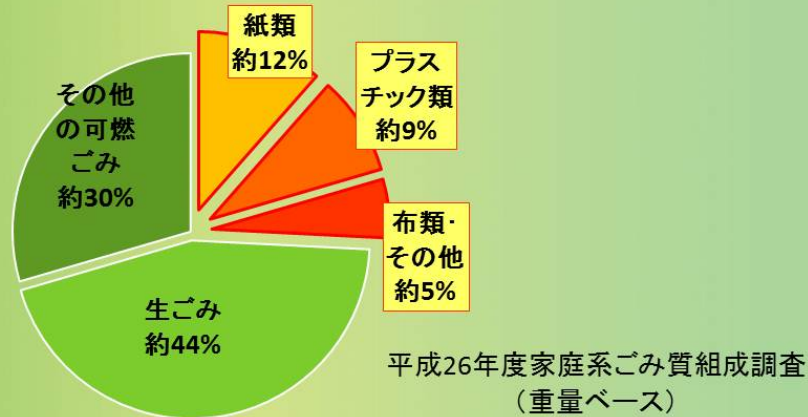
期 間	1日平均有料袋 不使用数(袋/日)	有料袋不使用率 (%)
4月 1日(水)～4月12日(日)	1,141	3.1
4月13日(月)～4月26日(日)	601	1.6
4月27日(月)～5月10日(日)	463	1.3
5月11日(月)～5月24日(日)	347	0.9
5月25日(月)～6月 7日(日)	284	0.8
6月 8日(月)～6月21日(日)	217	0.6
6月22日(月)～7月 5日(日)	202	0.6

また、有料袋を使用していないごみの排出状況については、実施当初の4月12日までの2週間は1日平均1,141袋で不使用率は3.1%でしたが、週を重ねるごとに有料袋を使用していない袋の数は減少し、直近の7月5日までの2週間では1日平均202袋で不使用率は0.6%となっています。

皆様のご協力により周知が徹底されてきたものと思います。

## 更なる分別へご協力のお願い

家庭から出る燃やすごみのなかに資源化できる紙・プラスチック類・布類・その他が**約26%**



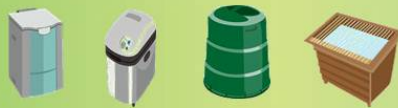
家庭から出る燃やすごみの中には、まだ資源化できる紙類、プラスチック類などの資源物が約26%も含まれています。是非、有料化を契機にさらなる分別にご協力をお願い致します。  
燃やすごみは、約44%の生ごみが占めています。

## 家庭でできるごみの減量

### ● 生ごみ処理機

購入費の一部を助成  
(上限4万円)

電動型75% 非電動型90%



### ● 食品ロスの削減



### ● 生ごみの水切り



### ● マイバッグの持参

家庭でできるごみ減量の取組みについてですが、例えば生ごみ処理機を用いて生ごみの自家処理に取組んだり、生ごみの水切りや、消費期限・賞味期限切れによる食品の廃棄を減らすように心がけること、さらに、不要なレジ袋を貰わないよう買い物の際にはマイバッグなどの方法で、ごみを減量することが可能です。是非有料化を契機に、もう一度ごみの減量に向けて取組んでいただけるよう、皆様のご理解とご協力をお願いします。

## 鎌倉ハイランド自治会の ごみ減量プロジェクトと生ごみ処理機 100台普及運動

### ◆プロジェクトの発足

市のごみ処理の現状を初めて知り、名越クリーンセンターの見学や、家庭から出る燃やすごみの内訳についての情報を得た。

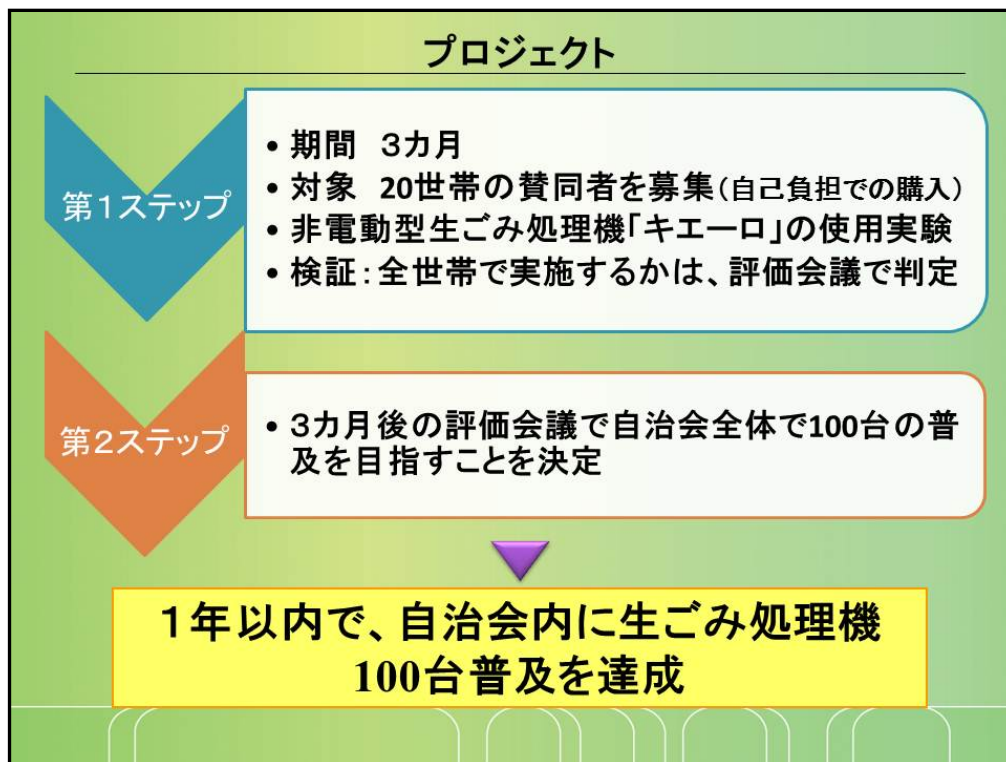
家庭から出る燃やすごみの半分を占める生ごみを半減できれば、名越クリーンセンターのみで対応できるのではないか



自治会で生ごみ半減の実証実験に取り組む

次に、自治・町内会の方が組織全体でごみの減量に取り組まれた事例として、鎌倉ハイランド自治会の「ごみ減量プロジェクト」について、ご紹介させていただきます。

鎌倉ハイランド自治会は、40年前に西武不動産が造成した浄明寺六丁目と十二所にまたがる住宅地で、およそ500世帯の自治会です。このプロジェクトは、鎌倉市のごみ処理の現状を知り、名越クリーンセンターの見学や、家庭から出る燃やすごみの内訳についての情報を得たことで、家庭から出る燃やすごみのうち半分を占める生ごみを半減できれば、名越クリーンセンター施設で対応できるのではないか、ということから生ごみ半減の実証実験に取り組むプロジェクトを発足したものです。



プロジェクトは、第1ステップとして、自治会で生ごみ処理機を用いた生ごみの自家処理をすすめる実証実験を、20世帯を対象に3カ月間行いました。

この実証実験の結果、プロジェクトの参加者からは楽しいとの声が多く挙がったことから、第2ステップとして自治会全体で生ごみ処理機の100台普及を目指すことを決定し、1年以内でその目標を達成しました。



## 目標達成の要因

目標を明確にし、期間を設定

キエーロの世話が楽しい

申込みの手間を一切省略

生ごみが激減することを実感

迅速なトラブル対応

みんなで取り組むことの安心・盛り上り(評価会議)

キエーロの持つ意義を丁寧に説明(経済的、科学的)

「ベランダdeキエーロ」に集約

自治会では目標達成の要因を次のように分析されています。

目標を明確にして期間を設定したこと、申込みの手間を一切省略したこと、迅速なトラブル対応をしたこと、キエーロの持つ意義を丁寧に説明したこと、キエーロの世話が楽しいと感じること、生ごみが激減することを実感したこと、みんなで取り組むことの安心・盛り上り、「ベランダdeキエーロ」に集約したこと、などが挙げられています。

家庭でできるごみの減量に、自治会として組織的に取り組むことで、とても大きな成果を上げられた事例を皆さんと共有したく、ご紹介させていただきました。

## ごみ減量キャラバン 鎌倉のごみ減量をすすめる会

- 自治・町内会などの会合で、家庭でのごみ減量方法や生ごみ処理機の使い方を実演



### 鎌倉のごみ減量をすすめる会

鎌倉市のごみの発生抑制、ごみ焼却量の削減を進めるため、市民・事業者・市が連携した取組みを行うことを目指して平成24年3月26日に発足

次の取組みになりますが、自治・町内会などの会合でごみの減量方法や生ごみ処理機の使い方を実演している「ごみ減量キャラバン」をご紹介します。

このキャラバンは、市の要綱で設置している鎌倉のごみ減量をすすめる会の方々によるもので、主婦の目線からごみ減量のヒントや、主に非電動型の生ごみ処理機の使い方のポイントをご紹介します。

配布資料に申込み方法が掲載しておりますので、是非会合などの機会に合わせて呼びいただければ幸いです。

## リユース食器利用費補助金交付制度

- 自治・町内会、商店会、NPO、学校などが主催
- リユース食器を100個以上使用するイベント
- 補助金は利用費の1/2を交付※上限は5万円
- 制度の利用例  
大船to大船渡、鎌人いち場、福祉まつり、自治・町内会の夏祭り、防災訓練、餅つき大会、保育園のバザー、PTAの文化祭など



次に、リユース食器の利用について説明をさせていただきます。

市には夏祭りや秋のイベントなどで使う、使い捨てのお皿・紙コップや割り箸の代わりに、何度でも使えるリユース食器の活用をすすめています。

市ではリユース食器の利用費の補助として、リユース食器を100個以上利用する場合、利用費の半額を助成しています。

本制度を有効活用しながら、環境負荷が少なく、ごみの少ないイベントにしていただければと思います。

# 鎌倉市新ごみ焼却施設の 整備について

- 鎌倉市の未来のために、  
今できること -

最後に「新ごみ焼却施設の整備について」ご報告させていただきたいと思います。

## 新ごみ焼却施設の必要性

名越クリーンセンターは、施設の老朽化が進んでいるため、地元の皆様のご理解を得て、今後10年程度、焼却できる延命化工事を施した。

将来に向けた安定的なごみ処理の継続が必要！

市民生活の基盤整備となる、ごみ焼却施設を、  
市内のどこかに整備することが命題

今後も減量・資源化を進めたうえで、それでも排出されるごみを焼却してエネルギー回収が図れる  
焼却施設の整備を行っていくことが不可欠

ごみ焼却施設は、今泉クリーンセンターが平成27年3月末で焼却を停止するとともに、名越クリーンセンターも、施設の老朽化が進んでおり、地元の皆様のご理解を得て、今後10年程度、焼却ができる延命化工事を施しました。しかしながら、将来に向け安定的なごみ処理を継続していくうえでは、市民生活の基盤となる新たなごみ焼却施設を市内のどこかに整備することが市の命題となっております。今後も引き続き減量・資源化を進めたうえで、それでも排出されるごみを焼却してエネルギー回収が図れる焼却施設の整備を行っていくことが不可欠だと考えております。

## 施設整備の基本方針

1. 安全・安心で、環境に十分配慮し、市民に愛され、地域に開かれた施設を目指す。

- 安全性や信頼性の確保のため最新の技術や機器を導入
- 環境対策として特に大気は、自主規制値を設ける
- 周辺と調和した外観・形態意匠を考慮

2. ごみ焼却から得られたエネルギーを有効活用し、平常時はもとより**災害に強い施設づくり**を行ない、災害時には地域の復旧の一助を担える施設を目指す。

- 施設を強靱化し、大規模災害時にも施設の稼働を確保し、電力や熱供給を行い安全な生活の基盤づくりを図る。

私は、新ごみ焼却施設について、まず周辺環境への影響を最低限におさえるため、「安全・安心で、環境に十分配慮し、市民に愛され、地域に開かれた施設を目指すこと」を考えています。

これを実現していくために、

- ・ 安全性や信頼性の確保のため最新の技術や機器を導入し、
- ・ 環境対策として特に大気は、自主規制値を設け、
- ・ 周辺と調和した外観・形態意匠を考慮していきます。

さらに、ごみ焼却から得られるエネルギーを有効活用し、平常時はもとより、災害に強い施設造りを行い、災害時にはその利点を生かし、地域の復旧の一助を担える施設を目指していきます。これを実現していくために、

- ・ 施設を強靱化し、大規模災害時にも施設の稼働を確保し、電力や熱供給を行い、安全な生活の基盤づくりを図ってまいります。

## 建設候補地の選定理由

【特に重要な項目】災害時におけるエネルギーの有効活用の視点

- ・ 第3次総合計画基本構想「災害に強い安心して暮らせるまちづくり」
- ・ ごみ焼却施設を地域に貢献できる施設とする

「同一敷地内にある山崎下水道終末処理場と連携を図ることで、災害時においても社会基盤となるごみ焼却施設と下水道終末処理場の2施設の稼働を確保することが、本市の安心安全なまちづくりを進める上で極めて重要」と判断した。

最終建設候補地として

**山崎下水道終末処理場未活用地**

を選定した。

新ごみ焼却施設の建設候補地を検討する過程で、第3次総合計画基本構想で「災害に強い安心して暮らせるまちづくり」の実現を目指していることや、ごみ焼却施設を地域に貢献できる施設としたいという思いから、「災害時におけるエネルギーの有効活用の視点」を特に重要な項目としてとらえてきました。

このような点を踏まえ、同一敷地内にある山崎下水道終末処理場と連携を図ることで、平常時のエネルギーの有効活用はもとより、災害の発生時でも社会基盤となるごみ焼却施設と下水道終末処理場の2施設の稼働を確保することが、本市の安心安全なまちづくりを進めるうえで極めて重要であると判断し、最終建設候補地として「山崎下水道終末処理場未活用地」を選定させていただきました。

## 下水道施設との併設

負担の公平性から施設の分散という考え方もありますが、市としては、今回の選定にあたって、安全安心なまちづくりや両施設の相乗効果が重要であると考えた。

施設づくりにあたっては、従前のような迷惑施設ではなく周辺住民への影響を最低限に抑え、地域に貢献できる施設としたい。

しかしながら、住民の皆さんからは、「ごみ焼却施設と下水道終末処理場との併設は、負担の公平性から問題がある」というご指摘があります。

施設の分散という考え方もありますが、今回の選定にあたっては、安全で安心なまちづくりや両施設の相乗効果が重要であると考えたうえで、山崎下水道終末処理場未活用地を選定させていただきました。今後、施設づくりにあたっては、従前のような迷惑施設ではなく周辺住民への影響を最低限に抑え、地域に貢献できる施設としたいと考えておりますので、これからも、建設候補地の選定経過、市の目指すごみ焼却施設の概要等を地元の皆さんにご理解をいただくことに全力を挙げ、できる限り負担をおかけしない施設造りを皆さんと一緒に検討していくために、丁寧な説明に務め、説明会などを重ねていき、平成37年度の施設稼働を目指してまいりたいと考えております。

ごみ焼却施設は、総論賛成、各論反対の施設となってしまいますが、市には、必ず必要な重要な施設であることをご理解いただきまして、皆さんのお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

## 第1部「長寿社会のまちづくり」「ごみ減量・資源化等の取り組み」に対する意見・質疑

### <浜上町内会 野村会長>

下水場の近隣の理解度は今どのへんまでいっているのですか。まだ反対なのか、理解度が今どの辺まできているのか、どうでしょう。

### <松尾市長>

今、山崎に決めさせていただいて、施設の中に入れていただくことにし、近隣の方々にお声かけをして合計で150名ぐらいの方に参加していただきました。やはりその中には反対のご意見はたくさん出てまいりましたが、やはり選定するにあたっての考え方とか、野村総研跡地の方がいいのではないかというご意見が中心だったのですが、市としてはどうしてこの場所に決めたかということ、説明を繰り返させていただくことにより、これからの理解を得ていきたいと考えているところです。

まだ、地域の皆さんが賛成という状況にはなっていませんが、地元の自治会町内会長様ともしっかりと対話を続けておりますので、理解していただけるように努力していきたいと思っております。





## 第2部 地域の懸案事項に関する報告

### 【腰越地域】



- ・腰越地域老人福祉センター建設について
- ・腰越子ども会館・子どもの家の建設について
- ・腰越駅周辺の放置自転車対策について
- ・空き家対策について
- ・街路照明灯への防犯カメラの設置について
- ・腰越電車通りのカラー舗装について
- ・第2部に関する質疑応答

## 腰越地域老人福祉センター建設について

【健康福祉部 高齢者いきいき課】

### 進捗状況と今後のスケジュール

**平成26年度** 平成25年度に実施した基本設計をもとに、より詳細な設計を実施。予定地内にあった家屋の解体工事等を実施し、現況は更地となっています。

**平成27年度** 11月頃から翌年3月にかけて橋梁工事を実施し、その後、施設本体の建築工事に着手予定です。  
施設のカラーデザイン投票を実施し、外観の色彩が決定しました。



【屋根:深緑色 外壁:クリーム色・濃灰色】

**平成28年度** 平成28年12月頃竣工を予定しており、施設開設は平成29年3月頃の予定です。

長年皆さん方には時間がかかってしまって申し訳ないところですが、腰越地域老人福祉センターの建設についての現状報告をさせていただきます。ご案内のとおり、施設のカラーデザインの投票実施をさせていただき、決定させていただいたところでございます。今後は平成28年12月頃の竣工を予定しており、施設開設については平成29年3月頃を目指して、進めてまいりたいと考えております。この予定から遅れることがないように着実に進めてまいりたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。

## 腰越子ども会館・子どもの家の建設について

【こどもみらい部 こどもみらい課】  
【こどもみらい部 青少年課】

### 進捗状況と今後のスケジュール

敷地内に国有地の存在が判明したことなどにより、開設の時期が遅れましたが、平成27年5月に道路後退工事に着手し、工事も順調に進んでおり9月の完成を見込んでいます。

建替え工事については、道路後退工事の進捗よく状況にあわせて着手し、11月中の完成を見込み、12月当初の開設を予定しています。

### 建物の概要について

- ・ 建物は平屋建て。
- ・ 子ども会館・子どもの家の併設館として、プレイルーム約92㎡、子どもの家子ども室約95㎡、図書室約20㎡
- ・ その他、乳幼児室、事務室などを設置。
- ・ 延べ床面積は約345㎡を予定。
- ・ 定員は、現在の53人→85人へ（32人増）。



次に、腰越子ども会館、子どもの家の建設についてです。道路に擁壁を作る等の工事などもあり、時間が掛っております。建物自体は平屋建てで、子ども会館、子どもの家の併設館として建設する予定です。現在の定員が53人から85人と、32人増員ができるという施設になっております。今年の11月中の完成を見込んで、12月からの開設を予定しているところです。

## 腰越駅周辺の放置自転車対策について

【まちづくり景観部 交通計画課】

江ノ島電鉄腰越駅周辺には、公有地がなく、また駐輪場を設置する一定規模の土地がないことから、駐輪場を設置することが難しい状況にあります。

### 現在の状況と取り組みについて

こうしたことから、自転車利用者に対し、路上へ駐車を行わないよう看板等で注意喚起するとともに、定期的な巡回の回数を週2回から3回に増やし、取り締まりや撤去の強化を行い、放置防止に努めてきました。

また、腰越駅付近でコインパーキングが計画された際に、駐輪場の設置について検討をお願いするなど、設置に向けた取り組みを行いました。残念ながら設置には至っておりません。

### 今後について

今後もこうした機会も捉えながら、引き続き土地の情報収集に努め、駐輪場の設置に向け取り組んでまいります。



腰越駅周辺の放置自転車対策についてです。こちらは大きな解決策ということにはまだ至ってないのですが、現状としては注意喚起を行いながら、巡回の回数を増やし、撤去取締りの強化を行っております。放置自転車対策は、根本的な解決には駐輪場の設置ということになりますが、近隣の土地が空くような情報があれば、それを契機に駐輪場の設置を市としては目指してまいりたいと思っております。土地の情報収集に引き続き努めながら、地域の皆さんからも情報がありましたら、いただければと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

## 空き家対策について

【環境部 環境保全課】

### 取り組み状況について

**平成26年度** 空き家は個人資産であり、所有者が適正に維持管理することが求められます。市では、平成26年度から固定資産税の納税通知書の中に、空き家の適正な管理に努めることを周知・啓発するチラシを同封しました。

**平成27年度** 適正な管理がされていない空き家等に対して、新たに「空家等対策の推進に関する特別措置法」(以下「法」という。)が施行されました。この法により、空き家の所有者の特定や現状把握ができる立入調査等、所有者の状況を把握して所有者に対しては、周辺の生活環境に悪影響を及ぼさないよう空き家等の適切な管理に努めることを助言・指導できる体制が整備されました。



### 今後の取り組みについて

市内の空き家の実態や状況等を把握する調査を予定しており、市民の皆様が安全で安心な市民生活を確保するため、空き家の適正な維持管理がされるよう取り組みを進めていきます。

空き家対策についてです。今年、空き家対策の推進に関する特別措置法が施行されたことにより、より進めていくための法整備が整えられました。市としては条例化を目指してきましたのですが、まずはこの法体系に沿った取組みということで、さまざまな内容を予定しています。特に空き家の実態を把握する調査を予定しており、さまざまな課題解決に向けた取組みに繋げてまいりたいと思います。

## 街路照明灯への防犯カメラの 設置について

【都市整備部 道水路管理課】

### 防犯カメラ設置に関する許可条件

平成26年度ふれあい地域懇談会での御要望を受け、平成27年1月16日から、一定の条件のもと、市の街路照明灯に防犯カメラを設置することができるようになりました。



詳細は別添資料のとおり

防犯カメラの設置につきましては、平成27年の1月から市の街路照明灯に防犯カメラを設置することができるようになりました。必要がありましたら、それぞれの取組みとして防犯カメラを設置していただければと考えております。

## 腰越電車通りのカラー舗装について

【都市整備部 道路課】

### 現在の取組み状況について

道路のカラー舗装につきましては、限られた道路幅員の中で歩行者の安全を図るため、路側に歩行空間を明確にするグリーンのカラー舗装を実施し、歩行者及び車の運転者が容易に歩行空間を認識できるよう順次整備を進めているところです。

腰越の電車通りにつきましても、市内の要望箇所の一つとして検討しており、現在、関係部署及び警察と協議調整を行ってまいります。



【カラー舗装の例】

腰越電車通りのカラー舗装についてです。道路のカラー舗装につきましては、視覚的に歩行者の安全も守っていくということで、市としては整備をしているところです。腰越の電車通りにつきましても、市内の要望箇所の1つということで、警察関係機関等と、調整を行っているところです。この調整が整い次第、実施していくということになります。

防犯カメラ設置に関する許可条件

- (1) 占有者は、地方公共団体、鎌倉市内の自治・町内会及び商店会とし、占有物件を占有者の責任において適切に維持管理すること。
- (2) 占有物件が破損及び損傷した場合は、いかなる理由であっても占有者の責任と費用により修繕又は撤去すること。
- (3) 街路照明灯の機能が損なわれる等の理由により、占有物件の撤去又は移設が必要であると道路管理者が判断した場合は、占有者は自己の負担により占有物件を速やかに撤去又は移設すること。万が一、撤去又は移設がされない場合は、道路管理者が撤去及び廃棄し、これに係る費用を占有者に請求する。その場合、鎌倉市に一切の責任は無いものとする。
- (4) 占有物件の設置及び管理にあたっては、所轄警察署に相談し、指導を受けること。
- (5) 占有物件の設置は、近隣住民の同意を得た上で行うこと。
- (6) 占有物件の最下端は、車道部においては路面から5.0m以上、歩道部においては2.5m以上とすること。
- (7) 占有物件の維持管理については、占有者が定めた管理規程等に基づき、その管理に万全を期すること。
- (8) 占有者は、占有物件の維持管理に必要な電源を自己の責任で確保し、占有物件によって発生した電気使用料については、占有者が負担すること。
- (9) 許可条件中に記載のない事項については、鎌倉市と占有者で協議して定めることとする。

## 第2部「地域の懸案事項に関する報告」に対する意見・質疑

### <七里ガ浜二丁目自治会 白井会長>

空き家対策なのですが、七里ガ浜二丁目も空き家が非常に多いです。ご存じのように七里ガ浜二丁目は山の上にありますので、歩いて登っていくのが非常にきついと、高齢者が引っ越されて、家はそのままにしているのです。継ぐ人もなく、家がかなり崩壊しているところがあるのです。屋根が崩れたり、ヒビが入ったりしています。

新しい法律によって指導できるということですが、例えば市がそれを直すのに少し補助金を出して修繕するとか、潰してしまうとか、そういうことを市の条例でできないかと思っています。これから空き家は増えてくるので、売りに出しても住民協定等でなかなか売れない。その辺りをきちんとやらないと将来困ったことになると思います。

### <松尾市長>

まさにそうした課題が、空き家対策について解決していかなければならない点だと思います。補助金というお話が出ましたが、補助金も1つの方法だと思いますが、税金の点で、対応していくことによって優遇していくという方法も検討しており、どのような制度を作っていくかを検討しているところです。これらの市の取組みを早期にまとめ、方策を速やかに発表ができるようにしたいと思っています。

#### 《後日対応 — 環境部環境保全課》

法に基づき、倒壊等のおそれがある空き家への指導等が可能になりましたが、管理不全な状態の空き家の適正な管理を所有者に要請するとともに、緊急安全対応や解体費用等の補助も実施している先進市の事例を参考に、本市の状況に即した方策を検討します。

### <神戸町内会 浅井会長>

腰越周辺の放置自転車対策で、月に2回から3回に巡回を増やしていただいた、ということはあるのですが、置く人間はマンネリ化して悪い意識が全然ない。1番多いときだと50台ぐらい放置されていて、巡回されたときに、自転車に貼り紙をされたものを、自分で持ち帰るならいいのですが、川へ捨てたり、他の自転車の荷台のところへ置いて行ったりと、そのような光景があるので、非常に困っているのです。自分の町内の人間であれば会合等を開いて注意するのですが、他の場所から来てそこへ放置しているわけですから。

設置ということで、その場所がないという説明があったのですが、河川に橋を渡して、放置自転車を管理するため用の橋を作っていただいて、そこに置くような方法が取れないか、検討材料としてお願いしたいのです。経費は有料化にして管理すれば、多少なりとも経費も節減されると思うのですが。巡回を増やして人件費を増やすことはないですから、罰則的に番号でもつけて、何枚たまったら、回収しますよという決め事があれば、置く人も真剣になると思うのです。

ただ紙を、貼られたなと思うだけで捨てる現状ですから、何の意味も無いと思うので、その点を検討していただければありがたいと思います。

### <松尾市長>

より置かないようにするという取組みをしなければいけない、ゴミになってしまうという貼り紙の方法がいいのかを含め、改めて検討したいと思います。

### <神戸町内会 浅井会長>

特に神戸川の清掃活動を続けているグループもあり、上流から清掃されていると思うのです。自転

車放置は海岸に近い場所ですから、すぐに海へ流れてしまうと思うのです。そういう点からも、すぐ見た目も悪くなると思うので、よろしく願います。

#### 《後日対応 — まちづくり景観部交通計画課》

これまで放置自転車等対策として、駐輪場設置に向け、周辺の土地情報等に注視し、駐輪場用地の確保に取り組んでまいりましたが、適地の確保が困難な状況にあります。

そこで、神戸川上の駐輪場設置について、改めて河川管理者である藤沢土木事務所へ相談したところ、神戸川に限らず河川の上空占用は、河川管理上、認められないとの見解が示されました。

こうしたことから、今後も引き続き、周辺の土地情報等に注視しながら、駐輪場用地の確保に努めていくとともに、放置自転車等の取り締まりや撤去の強化を行ってまいります。

なお、放置自転車等の取り締まりについては、現在行っている警告札による指導が有効な手段と考えていますが、モラルのない一部の人により、警告札が路上や河川に捨てられているとの現状は認識しています。

捨てられた警告札は、放置自転車対策の監視員により、随時回収するよう努めていますが、全てを回収することは困難な状況です。

そこで、このような状況を少しでも改善するため、自然に還りやすい紙や剥がしにくい素材を警告札に利用することができないかどうか、作成費用の課題も含めて、今後、調査・研究を行ってまいります。

#### ＜七里ガ浜自治会 五十嵐会長＞

空き家対策についてです。私どもの現状とお願いがあるのですが、約1,700軒のうち、空き家が111件あります。これは全部確認しました。この空き家の所有者を特定するために、市に教えてくれないかと思いましたが、個人情報で難しいということなので、われわれインターネットで、全部調べ上げました。普通だったら法務省へ行くと1件500円かかるのですが、インターネットだと180円ぐらいで済むのです。登録しまして調べ上げました。

市がいくら躍起になっても、空き家は全部調べ上げられないと思うのです。だから自治町内会と協力して調べないと実態はわからないと思います。われわれは、111件のうちランク付けをして、警告文を出そうと思っています。ある程度使えるところは、賃貸を推薦しようと思っています。これは不動産屋と組もうと思っています。

どのようにして空き家になるのかを調べました。家族がいて、子どもが育って、子どもが独立する、お父さんお母さんが残る、高齢化する、やがて、老人ホーム、病院へ入る。そうすると家財道具が残って、その家が空き家になるわけです。2年も経つと草で大変な空き家になってしまう。

われわれが今考えているのは、お父さんお母さんが老人ホームに入ったときに、不動産屋と組み、空き家管理ができないだろうかと、検討しています。

別に市からお金は要りませんが、具体的な情報をもっといただきたい。われわれから要望があったときには、条例改正して協力体制を作っていただけるようお願いしたい。協力できる人を特定してもらうような仕組みにして欲しい。

#### ＜松尾市長＞

具体的な取り組み事例、ありがとうございます。市が調査するより先んじて実施していただきまして。市としては、個人情報の部分で出せないということがあるのですが、その他出せる情報については、できる限り自治会の皆様のご要望にお応えできるようになってまいりたいと思います。担当をということですが、市では、市民の皆さんの窓口というところでは設置ができていないものですから、窓口を含めて体制づくりも早く決める中で皆さんにご報告させていただきたいと思います。



### <腰越地区社会福祉協議会 小川氏>

老人福祉センターの件で2点ほどお話ししたいと思います。1つは、本体工事の竣工とか開所の進捗状況についてお話を伺いましたが、周辺の土地があれだけあるわけです。建物だけやって、はい、これだけっていうのではなくてね。

市の工事の方とお話しをしたときも、公園課というところが管理すると言っているとか、整備するとか。私たちが思うに、建物ができてあれだけの敷地があるので、あそこで屋外の運動ができるとか、人が集まって屋外で何かできるとか、そういうものができないかと。是非、これからの話の中に入れていただきたい。

それからもう1つ、利用の環境整備ですよ。近所の人はいいいのですが、腰越地区にある老人福祉センターということであれば、例えば七里ガ浜の方から移動するとか、腰越の電車から移動するというので、距離があるので何かその辺り方法がないかどうか。

具体的にはバスの利用がありますが、バスの割引をさせてもらおうとか。本当は、名越やすらぎセンターみたいに役所からの送迎バスが出ていますけれども、巡回してもらえるようなことがあればいいのですが。利用のし易いような環境整備を、是非お願いしたいという2点を。引き続きなるべく早い時期に整備をお願いしたいと思います。

### <松尾市長>

周辺の土地の活用ということに関しては施設の完成後にどのようにしていくか、活用方法を皆さんとご相談させていただきながら決めていければと思っております。施設整備の中では、奥の広場は、その後のこととしておりますので、開設に合わせて皆さんと協議をしながら決めてまいりたいと思いません。

バスのご要望のお話しですが、場所がバス通りということもあり、今の段階では、公共交通機関を使っただけだと考えているところがございます。皆さんの利用の状況や、今までこゆるぎ荘にあったなかで、こちらに移るといこともございますので、利用者等のご意見等を踏まえてどういうことができるかは、検討してまいりたいと思いません。

### <腰越地区社会福祉協議会 小川氏>

一息入れないで切れ目なく検討に入っていただきたいです。終わって、今後検討しますというのではなくて、今から地域の老人クラブとかそういう関係の人達がいるので、具体的に私たちが案を出してもいいのですが、これからも、整備や草取りなど地元で利用者ができる部分もありますので、それらを含めて切れ間なく対策を検討して欲しいと思いません。

### <松尾市長>

わかりました。

#### 《後日対応 — 健康福祉部高齢者いきいき課》

腰越地域老人福祉センター周辺の土地については、今現在、決まった土地利用計画はありません。いただいたご意見を参考にどのような活用ができるか検討してまいります。

交通手段については、基本的には公共交通機関を利用していただくことを考えておりますが、来館しやすくなるような工夫についても検討していきます。

巡回バス等の導入については、腰越地域だけでなく、他の老人福祉センターも含めた全体的な課題として、今後も検討していききたいと思います。

### <民生委員児童委員協議会第四地区 菅井氏>

幹線道路から1本中に入った細い道に、植木が道路に出っ張っているところはかなりある。見たところ1メートルぐらい脇から離れて歩くというのが、ざらにあるのです。雨が降って傘をさせば余計です。

車が来ると本当に危険です。家内が怪我して帰って来たので、聞いたら、車が来たから植木の中に入って、刺さったというのです。市の方でなんとかお考えいただいて、指導をしていただきたいと思いません。

先ほどからいろいろお話が出ていますけれど、「それではこうします」というのを、ほとんど聞いたことがない。「こうなりました」ということが欲しいのです。例えば、広報に「こうなりました」と出していただきたいと思えます。

#### <松尾市長>

民有地の植木や道路に出ている植木のこととか、そういうことについては、所有者にやっていただき、気づいた方や近隣の方がお互いに危ないのでやっていただくのが1番だと思うのですが、居るのか分からない状況でしたら市で指導していくことをやっていますので、この家と言っていただければ市できちんと応じていきたいと考えております。

#### <民生委員児童委員協議会第四地区 菅井氏>

先ほどから、条例とかいうけれど、具体化したというのはひとつも聞いたことがないですね。伐採とかなにか、「このように指導します」というのがありましたら、広報にでも載せていただきたいと思うのです。

#### <松尾市長>

空き家の対応につきましては、法整備の中で市としても具体的な取組み等を検討しています。これらがまとまりましたら、窓口等を含めて市民の皆さんに仕組みについてご理解をいただくために、広報等を利用しながら周知をしてまいりたいと思えます。

今いただきました、個別の民間の家で木が伸びているけどどうしたらいいのか、とか普段皆さんが知りたくなるような質問についても、上手く取り入れ、皆さんに分かりやすいように周知していきたいと思えます。

#### <腰越中学校PTA 井上氏>

老人福祉センターの建設と子ども会館、こどもの家の建設ということで、同時期に同じ地域にこういうことがあったので、私も全部を把握はしていませんが、地域が小学校と津村と離れていますので、子ども会館の一部の部分を老人会の人たちが集まるような多目的部屋にしたいとか、逆に、老人施設に子どもが寄れるような場所を作ったり、子どもと老人施設はだいぶ違うとは思いますが、2つが融合でき、理想的な形になるのかなと思ひ、そういうことはできないのかなと思ひます。

また、ごみ減量キャラバンのことで、PTAの文化祭等でできればいいなと思ひました。実際に例えば100個ペースで再生食器を使うとコスト的にはどうなるのか、学校で使うときに、同じ市の財布だと思ひるので、費用的なことを援助していただけるのかなと思ひました。もしそういうことがあれば、校長先生や他の方にも聞いてみようと思ひ、質問させていただきました。

#### <環境部 石井部長>

リユース食器の部分ですが、100個以上集まったものにつきましては上限5万円までは、援助させていただきます。リユース食器というのは、お祭りなど食器を使うときなどに使ってもらっています。

#### <腰越中学校PTA 井上氏>

リユース食器というのは瀬戸物のお皿を持ってくるのですか。

#### <環境部 石井部長>

ご申請をいただくと、NPOなのですが、そこからお貸しをするという形になります。

＜腰越中学校PTA 井上氏＞

洗わずに汚れたままでお返ししていいのですか。

＜環境部 石井部長＞

はい。そういう形になります。NPOの方できちっと洗浄させていただくということになります。

＜腰越中学校PTA 井上氏＞

運搬のほうはどうなるのですか。市の方へお皿を取りに行くのですか。

＜環境部 石井部長＞

会場にお持ちするという形になります。

＜腰越中学校PTA 井上氏＞

グループ補助というのが5万円までなのですか。

＜環境部 石井部長＞

上限ですね。

＜腰越中学校PTA 井上氏＞

お借りしたときにコストとしてどのぐらいなのですか。

＜環境部 石井部長＞

いくつかNPOがあるのですが、食器1個だったら25円です。仮にこの食器だけを100個借りると2,500円ですね。お箸やスプーンも1個あたり10円という形になります。

＜松尾市長＞

施設のバックボーン的な考え方、世代交流というのは、本当にそういうことを目指していきたいと考えているのですが、高齢者は高齢者の施設、子どもは子どもの施設として作ってきた経過があり、今回は最初から、設計の中に考え方は含まれてなく、ある意味では既存の施設と変わらない形になるのですが、運用の中でお互いできる部分を生み出していきたい。

利用者の方々にも、ご理解をいただきたいと思いますので、今後進めていく中で、世代交流ができるような形を目指していきたいと思っております。

## 第3部 本年度の地域の議題に関する懇談

### 【腰越地域】

腰越－H27－1	国道134号線腰越橋の歩道橋設置等について	P. 34
腰越－H27－2	国道134号線鎌校前の拡幅工事の進捗状況について	P. 37
腰越－H27－3	ゴミの戸別収集モデル地区の現状と今後の対応について	P. 39
	その他のテーマについて	P. 47

平成 27 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	腰越－H27－1
テ ー マ	国道 134 号線腰越橋の歩道橋設置等について
内 容 詳 細	<ul style="list-style-type: none"> <li>・腰越橋付近の道路幅が橋梁部分で狭くなっていることから、その分歩道が狭く、歩行者の安全が危惧される。</li> <li>・橋の拡幅または歩道橋の設置など、改善策を国県にお願いしていただきたい。</li> </ul>
担 当 部 課	都市整備部 道路課

<b>議題に対する回答等</b>	
<p>腰越橋の人道橋の設置については、設置予定場所の一部が漁港区域内となることから、腰越漁港の全体計画や漁港関係者との調整が必要となります。</p> <p>今後、地元関係者の要望を伺いながら、その実現について、神奈川県に要請してまいります。</p> <p>なお、「県議会議員団を通じた平成 28 年度国・県予算に関する要望事項」を神奈川県に提出いたしました。</p>	
添付資料	

<松尾市長>

腰越橋の人道橋の設置につきましては、地域をみましても、2020年の東京オリンピック・パラリンピックのセーリング競技会場が決まったということもあり、漁港へのアクセスという意味では歩道がないというのは、134号線の中でも危ない場所と認識しています。そういう意味において、前向きに取り組んでいきたいと思っておりますが、漁港施設の一部建物が隣接しており、歩道を拓げるに当たっては、漁港施設をどうするかということが大きな課題です。漁港関係者の皆さんと今調整をしているところでございますが、なかなか進んでいないというのが現状です。

今後実現に向けて、134号線の道路は神奈川県の手轄ですから、県と調整しながら進めてまいりたいと考えております。

<土橋町内会 伊東氏>

歩道橋というのは、腰越橋の海岸寄りのほうに歩道を作るということですか。

<鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長>

欄干の外側につけていただければ。とにかく車道だけでいっばいで、そういうことで出てきた問題です。

<土橋町内会 伊東氏>

反対側のほうがどうですか。鎌倉寄り。今、言ったのは藤沢方面で、今度は鎌倉方面の電車よりのほうです。

<鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長>

これからの検討によりますけれども、できれば両サイドにあれば1番いいです。市長から今お話がありましたように、海側の方は漁協の倉庫があるので上手くいくか、また左側方面に関しては、それほど広くはないです。

今後の検討問題だと思いますが、一応、イメージとしては両方あったらいいなという感じです。

<土橋町内会 伊東氏>

両方お願いします。

<松尾市長>

今私が把握しておりますのは、海側の方を想定してお話をさせていただきました。今ご意見をいただきましたので、県、国にあわせて、要望する際には、そこも含めた形で話をしたいと思います。

<土橋町内会 伊東氏>

是非、よろしくお願いいいたします。もう1件、腰越橋から神戸橋へ向かうところの道路もやはり歩道がなく、皆さん歩道がなくて困っているのです。海岸にもなかなか行けなくて困っています。どうしても車道を歩くようになってきているので、今に事故が起きると思っているのです。川沿いの方でいいので、ちよっと出っ張らせて、川の上側に歩道ができないかどうか検討してください。

《後日対応 — 都市整備部道路課》

腰越橋の人道橋の整備については、漁港の利用者である漁業協同組合の意見を確認するとともに、道路管理者である神奈川県に対し説明を行いました。

また、「県議会議員団を通じた平成 28 年度国・県予算に関する要望」において、腰越橋の人道橋の整備や腰越漁港前の歩道整備について要望を行いました。

現在は、藤沢土木事務所において、腰越橋の人道橋及び漁港付近への歩道整備に関し関係部局との調整など条件整理を行っているところであり、事業については、藤沢土木事務所と鎌倉市とで連携して推進しております。

また、海の反対側については、現在、沿道には家屋が連担しており、歩道幅は難しい状況です。

**<鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長>**

確かにあそこは歩道もないし、非常に危険なところではある。今回のテーマとして取り上げていないのですが。

**<土橋町内会 伊東氏>**

答えをもらえなくても要望があったと。

**<鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長>**

海岸から県道を大船まで行くところの電車通りの話です。あそこは狭くて非常に危険なのです。そんな話が出たということ、頭の隅においていただければと思います。

**《後日対応 — 都市整備部道路課》**

県道 304 号(腰越大船)の腰越橋から亀井のバス停までの間は、歩道が整備されていないため、歩行者が安全に安心して通行できない状況であることは認識しています。

県道の改良整備については、従来から道路管理者である神奈川県に対し、整備促進の要望を行っているところです。

江の島が東京オリンピック・パラリンピックの会場となったこともあり、これを契機として、県道 304 号(腰越大船)の整備について要望を行ってまいります。

平成 27 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	腰越－H27－2
テ ー マ	国道 134 号線鎌倉校前の拡幅工事の進捗状況について
内 容 詳 細	国道 134 号線の鎌倉高校前付近の拡幅工事について、その進捗状況を伺いたい。また、杭の鉄さびの飛散など課題等があれば、あわせて伺いたい。
担 当 部 課	都市整備部 道路課

<b>議題に対する回答等</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国道 134 号を管理している神奈川県藤沢土木事務所に確認したところ、現在は、道路沿いの海岸側に鋼管杭を打ち込んでいる段階とのことです。工事は以下の3区間に分けて行っています。             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 行合橋側工区(440m)</li> <li>② 鎌倉高校駅前交差点を含む中央工区(560m)</li> <li>③ 小動側工区(400m)</li> </ol> </li>   <li>・ 行合橋側工区             <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 25 年度顕証寺前の 40m部分…………平成 25 年度完了。</li> <li>・顕証寺前の 40mに続く追加工事分 140m分…………平成 26 年度完了</li> <li>・平成 26 年度分 130mの工事…………平成 27 年4月着手、平成 27 年中の完成予定</li> </ul> </li>   <li>・ 中央工区             <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央工区は、平成 26 年3月から平成 28 年2月までの工期で擁壁防災工事を継続的に行っています。</li> </ul> </li>   <li>・ 行合橋側工区と中央工区の2工区は、平成 25 年度から工事を開始し平成 28 年度に完成する予定です。</li>   <li>・ 鎌倉高校駅前交差点の市道部分は、鎌倉市が施工しますが、中央工区の進捗状況をみながら、平成 29 年度頃に着手する予定です。</li>   <li>・ 鉄さびの飛散については、平成 26 年7月に問い合わせがあり、原因は定かではありませんが、工事用機材の進入路として使用している敷鉄板のさびの可能性が考えられるため、敷鉄板を砂でカバーする処置を行ったとのことです。</li> </ul>	
添付資料	



### ＜松尾市長＞

国道134号線、神奈川県の記事ということになります。担当しております神奈川の藤沢土木事務所を確認しましたところ、行合橋側工区と中央工区の二工区につきましては、平成28年度に完成するという予定だとお伺いしています。

そして、鎌倉高校前の交差点ですが、市道部分については鎌倉市が実施をするということになっており、中央工区の進捗状況を見ながら、平成29年度ごろに着手をする予定になっております。

### ＜浜上町内会 野村会長＞

相談があったのは、鉄柵のさびの問題です。すぐ上に病院があり、病院の方からさび何とかならないかと話があり、定かではないが、工事用機材の進入路として使用している機器鉄板のさびの可能性が考えられると。さびだけではなく、杭のさびが大きい。この前相談をさせていただいて、その周りにシートをかけてやって欲しいという願いをしたところ、現況ではその状況でやってくれています。

それ以降出たという話は聞いておりませんので、今はいい、現状では。病院側から言われたものですから、話をさせていただきました。現況としてはいいのではないのでしょうかね。また何かあれば町内会に言って欲しいと言っておりますので、出たら市の方に問い合わせをします。

### ＜鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長＞

134号線の拡幅工事につきましては大規模工事でありますので、かなり期間もかかっているということでございますけれども、着々と進んでいますので見守っていただきたいと思っております。

平成 27 年度ふれあい地域懇談会 回答票

番 号	腰越－H27－3
テ ー マ	ゴミの戸別収集モデル地区の現状と今後の対応について
内 容 詳 細	戸別収集モデル地区の実施状況と、今後どのようにしようとしているのか、その方針について伺いたい。
担 当 部 課	環境部 資源循環課

議題に対する回答等	
<p>本市では、平成 24 年 10 月から山ノ内、鎌倉山、七里ガ浜の約 3,500 世帯の方々のご理解とご協力により実施した戸別収集モデル事業の検証結果を踏まえ、有料化との同時実施を目指すこととしました。</p> <p>その後、広報や説明会等での市民周知や意見公募手続条例に基づく意見公募を行ったところ、市民の皆さんから有料化については一定の理解が得られたものの、戸別収集については、収集経費の問題、プライバシー、コミュニティや防犯面での懸念等、様々な意見が多く出されました。</p> <p>このため、鎌倉市廃棄物減量化及び資源化推進審議会における議論を踏まえ、戸別収集については収集コストの削減策の検討とあわせて有料化を先行実施した後、一定期間、ごみの減量効果とごみ質の組成変化、クリーンステーションの収集環境の状況、戸別収集に関する市民アンケートの調査結果等の検証を行い、実施について判断することとしました。</p> <p>また、収集コストの削減としては、収集品目を 3 品目から 1 品目に、また、半日収集を 1 日収集に変更するなど、検討を行っているところです。</p> <p>有料化実施後の戸別収集モデル地区におけるごみの収集状況については、4 月から 6 月は前年度の同時期に比べて、14.29%削減されており、全市域の 17.90%に比べて 3.61%低くなっています。</p> <p>燃やすごみの不適切な排出状況ですが、4 月は戸別収集モデル地区では、不使用率 0.76%（全市域は不使用率 2.06%）で、全市域に比べてモデル地区の方が 1.3%低くなっていたが、6 月はモデル地区では不使用率 0.2%（全市域は不使用率 0.63%）で、全市域に比べてもモデル地区の方が 0.43%低くなっており、有料化の周知が進んだものと認識しています。</p> <p>今後、収集コストの削減とともに、有料化実施後の約 6 カ月間、上記の内容を戸別収集モデル地区との比較で検証し、本年 10 月に戸別収集の実施の有無について判断したいと考えています。</p>	
添付資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭系ごみ有料化(燃やすごみ)の実施状況について</li> <li>・戸別収集モデル地区における収集状況</li> </ul>

# 家庭系ごみ有料化（燃やすごみ）の実施状況について

## 1. 燃やすごみの収集量の状況

平成 26 年度		平成 27 年度		削減率 (%)
期 間	収集量(トン)	期 間	収集量(トン)	
4月2日(水)～4月13日(日)	662.08	4月1日(水)～4月12日(日)	485.99	26.6%
4月14日(月)～4月27日(日)	926.02	4月13日(月)～4月26日(日)	752.40	18.6%
4月28日(月)～5月11日(日)	963.77	4月27日(月)～5月10日(日)	785.11	18.5%
5月12日(月)～5月25日(日)	898.64	5月11日(月)～5月24日(日)	751.23	16.4%
5月26日(月)～6月8日(日)	908.23	5月25日(月)～6月7日(日)	751.84	17.2%
6月9日(月)～6月22日(日)	908.92	6月8日(月)～6月21日(日)	763.06	16.0%
6月23日(月)～7月6日(日)	894.28	6月22日(月)～7月5日(日)	778.04	13.0%
合 計	6,161.94	合 計	5,067.67	17.8%

## 2. 有料袋を使用していないごみの排出状況

期 間	1日平均有料袋 不使用数(袋/日)	有料袋不使用率 (%)
4月1日(水)～4月12日(日)	1,141	3.1
4月13日(月)～4月26日(日)	601	1.6
4月27日(月)～5月10日(日)	463	1.3
5月11日(月)～5月24日(日)	347	0.9
5月25日(月)～6月7日(日)	284	0.8
6月8日(月)～6月21日(日)	217	0.6
6月22日(月)～7月5日(日)	202	0.6
平 均	440	1.2

\* 1家庭が1袋排出するものとして計算

## 3. 今後の対応

- ・排出状況の悪いクリーンステーションへの対応は、引き続き現地での周知や各戸に啓発用チラシを配布していきます。
- ・市民の方には、適切な分別方法やごみ減量方法等様々な機会を通じて周知していきます。
- ・有料化によるごみの削減効果や有料袋の使用状況について、ホームページや広報等により公表していくことで、削減率の維持に努めていきます。

## 戸別収集モデル地区における収集状況

### 1 4月～6月のごみ収集の状況

#### (1) 地区別収集量と削減率

	26年度(戸別)	27年度(戸別+有料化)	削減率
山ノ内	113.68 t	96.98 t	△14.69%
七里ガ浜	75.72 t	67.79 t	△10.47%
鎌倉山	77.62 t	64.09 t	△17.43%
合計	267.02 t	228.86 t	△14.29%

(全市削減率：△17.90%)

#### (2) 不適切な排出状況 (燃やすごみ)

戸別収集モデル地区	(4月分)	233 袋	(有料袋不使用率)	0.76%
	(5月分)	73 袋	(有料袋不使用率)	0.27%
	(6月分)	60 袋	(有料袋不使用率)	0.20%
全市域	(4月分)	13,667 袋	(有料袋不使用率)	2.06%
	(5月分)	5,686 袋	(有料袋不使用率)	0.97%
	(6月分)	4,148 袋	(有料袋不使用率)	0.63%

### 2 戸別収集による収集量 (週当たり) と削減率

	実施前	実施後	削減率
山ノ内	10,360 kg	8,545 kg	△17.5%
七里ガ浜	5,650 kg	5,825 kg	+ 3.1%
鎌倉山	6,030 kg	5,819 kg	△ 3.5%
平均	7,346 kg	6,730 kg	△ 8.4%

※実施前は平成24年9月、実施後は平成25年10月～平成26年9月の1年間の平均

### 3 減量効果

- ・有料化による削減率は、戸別収集モデル地区でばらつきがあるものの、戸別収集を実施していない他地区と比較してほぼ同様の効果が見られる。
- ・戸別収集による削減率は、戸別収集モデル地区ごとにばらつきがあり評価が難しいが、山ノ内地区は小規模事業者の影響があるものと考えられる。
- ・4月・5月の有料化の実施状況を踏まえると、ごみ処理基本計画で戸別収集・有料化で見込んだ削減量約3,500 tは、有料化だけで達成できる可能性がある。

### 4 収集環境

- ・不適切な排出は、戸別収集の方が不適切排出率が低く、効果があると判断できるが、クリーンステーション収集でも低い排出率となっており、大きな支障は出ていない。
- ・不適正排出の多いクリーンステーションは、市内約4,500か所のうち、約60か所に絞られており、商店街の周辺や通勤通路沿い及び単身者アパートの近くにあり、今後、個別に対応していく必要がある。

## 5 戸別収集全市実施の検討内容

- ・戸別収集の全市実施については、有料化実施後の約6カ月間、①ごみの減量効果とごみ組成変化、②クリーンステーションの収集環境の状況、③収集コストの削減策の検討、④戸別収集に関する市民アンケートの調査結果などを踏まえて、本年10月に実施の有無を判断する。

## ＜松尾市長＞

ゴミの戸別収集モデル地区の現状と今後の対応についてです。ゴミの有料化、この課題につきましては、戸別収集有料化をしますということで皆さん方にはご説明をさせていただきました。しかしながら戸別収集の部分につきましては、費用面、プライバシー等の懸念等ということもあり、ご理解が得られないということもございまして、有料化の先行実施を進めている現状でございます。

モデル地区の皆さんにおかれましては、全体で約3,500世帯の方々にご理解ご協力をいただいております。戸別収集の実施の可否につきましては、今年の10月に判断をする予定にしております。10月に今後どのようにしていくかという説明をさせていただく予定をしております。

現在、1番課題となっております費用面について、コストを抑えることができないかというところを検討しています。当初予定しておりましたのは、戸別収集を全くやらない状態での費用が、約9億円でした。これを、戸別収集を全市実施することによって試算したのがおよそ13億円となっております。これをどこまで下げられるかというところで、1つは、戸別収集を午前中だけしか収集しないとしておりましたが、実際には1日かけて収集したほうがコストは下がりますので、1日収集にさせていただくとか、モデル地区では、燃やすごみと燃えないごみと容器包装プラスチックの3種類で戸別収集をやっているが、例えば燃やすごみだけ、1種類だけを戸別収集にさせていただくと、どれくらいコストが下がるかという点を検討しているところです。

その他に、ビン・缶、植木、週に1回ないし2週間に1回という体制でいっておりますが、全体を見直す中でゴミ収集全体の費用を抑えながら、戸別収集を実施し、費用が全体として膨らまない形にできないかということの検討をさせていただいております。そのあたりを含めてこの10月にどのような形で行うかという最終的な結論をご報告させていただきたいと考えております。

## ＜七里ガ浜町内会 中原会長＞

戸別収集の件についてですが、問題点のところ、経費、プライバシー、コミュニティ、犯罪面、これはどういう意見なのですか。戸別収集をしておりますけれども、プライバシーは守られています。介護パンツやT字帯とかは、有料ゴミに出さなくていいわけですよ。これをクリーンステーションに捨てたときに、なんで有料袋使っていないのかと、逆にプライバシーが守られていないということになっていくと思います。

それからコミュニティ、ごみを捨てる時に住民がいろいろな話をしていますか。これは反対のための意見みたいなものです。戸別収集するときに、防犯の問題などあるのですか。今われわれが戸別収集をやっているときに、すごくプラスが出ているわけですよ。まずカラスの害、トンビの害、それから野良猫の食い散らかし。これがゼロです。鎌倉山、山ノ内もそうだが、カラスはいなくなった。

それともう1つ収集経費の問題です。ビンや缶だとか、コンテナに出していますよね。配るという費用がかかっていますよね。衣服や、ミックスペーパーを出すようにポリ袋で出せば、コンテナも要らないし、それを配る経費も要らない。そういうところを整備していけば、コストというのは下がると思います。

資源ごみでいろいろなものが混在していることが、市の広報で結果を出されておりました。そのときのモデル地域の状況というのは、混在ゴミが大幅に減ったという利点も出てきています。戸別収集になったとき、たばこの空き箱をセロファンはセロファン、箱を開けて全部ばらして、銀紙は銀紙と意識が変わるのですよ。われわれモデル地域をやらせてくださいと手を挙げたわけじゃないです。市の方からやってくれないかということで、町内でも皆さん賛成が100%じゃないので、説得して始めた。3年間やってきて12月からは、この10月に出なければまた戻らなきゃいけないわけですよ、クリーンステーションに。3年間で皆さん良かったと言っていたものを、どう町内の皆さんに説明するのですか。

もう1つは、七里ガ浜東もそうですが、高齢者が増えてきています。雨の日も風の日も重いものを持って行くっていうのは、家の前で出せば、安全・安心という問題もクリアできる。山ノ内の方でも事例があるのでご紹介しますが、ごみが出ていないときに、収集の方が来て、「収集ですよ」という形でコミュニケーションができています。それで安全確認もできるというような状況もありますので、この戸別収集は続けるべきだと思います。アンケートが来ていますが、たぶん七里ガ浜からは意見を書

いていると思います。皆さん真剣になって考えていますので、これは市長の公約でもありますよね、戸別収集。市役所の中で検証し、議会でも話し合いをして欲しいのです。

私どもは市長とそれから石井さんのところには嘆願書を出しました。それから議会には陳情書を出しまして意見聴取もされました。ただ残念ながら、反対の方がいろいろいて、最終的には継続という形にはなりましたけれども、ごみの収集の仕方とか、経費のかからない収集の仕方があるはずだから、きちっと精査していただいて、全市実施をお願いしたいと思います。

ここにあるプライバシー、コミュニティ、防犯これは論外だと思います。実施している地域の状況を見ていただければよくわかると思います。いろいろ申し上げましたが、検討していただいて、モデル地域でなしに全市でやっていただいたほうが、観光のまちですからね、環境というものをきちっとした方がいいのではないかと思います。

### <松尾市長>

本当にこれまでご協力いただきありがとうございます。その結果、実績を出していただいていると思っています。ステーションでやっているところはどうしても、見た目も道路にまとまったごみが出ているわけですから景観面としても見栄えも良くないですね。

戸別エリアに入りますと、途端にごみが無くなるのです。皆さん敷地の中に入れて置いていますから、ごみが出ていないという状況になっていて、まちの景観という意味でも非常に意識が高いと感じております。

ご商売されている方にはいろいろあると思うのですが、家庭で出すごみと事業系で出すごみというのが混在しているというのが実情です。事業者の方は、事業系で市に出すのではなく、本来契約を結んで産廃業者に引き取っていただくのですが、家庭系ごみに入ってきてしまう。それをきちんと分けるには戸別収集というのは非常に効果があり、そういう意味では戸別収集は本当にやっていただかなければならない政策です。

正直申し上げて、コストの面が1番ネックになっています。人件費も上がってきていて、収集する事業者にも人が集まるかという話も実際いただいております。全市一気に同時は難しいかと思っています。やるにしても今のモデル地区を中心にエリアを拡げながら徐々に拡大というのが現実的にやっていく方法かと考えております。そのあたりも含めてきちんと組み立てをして、10月にご報告させていただきたいと思っております。

### <七里ガ浜二丁目自治会 白井会長>

来月のあたりに、このモデル4地区の自治会長と市長とに面談の申し込みをさせていただいていますので、今日は簡単に1つだけお聞きしたいことがあるのです。今回、3度目のアンケートをやっております。前回2度アンケートをやり、ある程度の評価反省出ていると思うのですが、3回目のアンケートの位置づけと、今後の集約結果の取り扱いをどのようにされるのかを知りたいと思います。

### <環境部 石井部長>

今アンケートを実施しているのですが、2種類あり、1つは戸別収集のモデルをしていただいている3地区の3,067帯にお送りさせていただきました。もう1つは、クリーンステーション収集をしております無作為抽出の3,000世帯、概ね6,000の世帯に対してアンケートをさせていただいています。

1番大きく違うのは有料化をスタートさせていただいたときに、有料化の状況を踏まえた中でこの有料化の状況と戸別収集についてどう考えますか、というようなアンケートの内容にさせていただいています。

モデル地区については3回目ですが、それ以外は、クリーンステーションで有料化をスタートした後、それを踏まえながら有料化についてどう考えますかという質問を、基本的には同じ内容を、少し変えて質問させていただいているということになります。両方とも50%ぐらいは回収があり、明日までが最終ということになりますのでそれを踏まえてきちっと取りまとめをします。

前回のときは戸別収集を実際にやっているモデル地区の方々とそれ以外の方々、二極化の考え方になったわけです。戸別収集はやっぱ必要、戸別収集よりもクリーンステーションがいい、というよ

うな状態になったわけですから。これが有料化スタート後、どう変わったかということを確認させていただきたいとこのようにございます。当然のことながら収集経過についてはまとめて分析し、最終的な判断に貴重な資料、判断材料とさせていただくということと、当然公表をさせていただく中でご説明をさせていただくことを考えております。

#### <七里ガ浜二丁目自治会 白井会長>

戸別収集のモデル地区に対して、今後も戸別収集をこのモデル地区でやるという説明をしていただいたのですが、やめるときは10月だか12月に「やめますよ」と紙1枚来ただけなのです。これではやっぱり住民は納得しないと思うのです。頼むと来たのに、途中でやめるときは紙1枚でやめますっていうやり方。そこは一定の結論は出さなきゃだめだと思うのですが、どっちの結論を出すにしてもちゃんと住民が納得するように丁寧な説明をお願いします。

#### <環境部 石井部長>

やめるという通知はお出ししていないと思います。

#### <七里ガ浜二丁目自治会 白井会長>

12月でやめる、結論出すというように捉えています、あの文章は。

#### <環境部 石井部長>

10月に正式に確定をさせていただくことから、予算については12月までには戸別収集という予算を形にさせていただいて、1月以降の3カ月間はクリーンステーション収集の予算という形でとりあえずさせていただくということでご通知をさせていただきました。いずれにしても戸別収集を実施することについては、10月までにきちっと判断をして対応させていただきたいと思います。

当然のことながら続けるということであれば、補正予算等でクリーンステーション収集から戸別収集というものの補正予算で対応するという事です。ご意見を頂戴する中でどう最終的に判断するかというの十分させていただきたいと思います。

#### <腰越地区社会福祉協議会 小川氏>

家庭ゴミ有料化の実施状況についてというページがありますね。この表を見ますと、はじめのころは削減率が26.6%で、1番下にくると13%ということで、初めの頃は良かったのが3か月経ったときに悪くなったということですね。はじめのペースでいけば結構上がってくるかと思ったら下がった。これは何がどういう原因でとか、この辺の捉え方はどうなっているのか。

もう一つ、いずれにしても減っていることは確かなので、収集作業がそれだけコストダウンに繋がっているのではないかと。例えば、3回行くところを2回で済んでいるとか。集めるのに、全体の量が減っているわけですから。その辺がどうなのかということ、2点お伺いします。

#### <環境部 石井部長>

削減率ですね。有料化がスタートするという事で、3月までにはかなりごみを出されたということで、3月のごみは、ものすごく多かったのです。通常の3月に比べて1.5倍ぐらいです。そういう部分で当初はごみがなかなか出にくかったことがあると思っています。4月の中旬からは16%台、17%台できたのが、6月22日から13%に下がっているのです。これが3週4週ぐらい続いています。ですから今はだいたい13%から14%の部分できていますので、対前年と比べてこのぐらい下がっているということでございます。リバウンド的な部分が出てきているのかなという部分はあります。

夏になりますと、ごみも非常に多く出る季節になり、われわれとしても、水切りをお願いするとか、生ごみ処理機を活用することをお願いしています。そういう周知を改めてさせていただきたいと思っております。引き続きどうやったらごみが減るのか、収集袋を節約できるのかを、是非皆さんにもお話をさせていただきたいと考えております。

もう一つ、収集コストですが、確かにごみが減ることによって収集の回転が良くなると考えられると思



うのですが、基本的に回る回数の削減までにはっていないのが現実です。確かにごみが減って、1ク  
リーンステーションで1分かかっていたものが50秒になることによって、今まで100個回っていたところ  
が、120個になる。そういうことによって回数が1台必要無くなるというこういうような流れになるのです  
が、今はまだ、そこまでの対応には至っていません。

効率的な収集というのは、回数、トータルで見直す必要があると考えております。

## 【その他のテーマについて】

### ＜鎌倉白山坂自治会 後藤会長＞

防災倉庫の件です。防災倉庫がわたくしども公園の中をお願いをしまして、小さい倉庫なものですから、もう1つそこに置きたいということになったわけです。公園課に聞きますと、1つしかだめだと、防災用の倉庫は1つですと。もう1つは清掃用の倉庫で、最大2つですよとされているのです。じゃあ大きい物にすればいいじゃないかというのが1つありますが、今のものを破棄しなきゃいけない。これも補助金で買ったものですからもったいないということで。

場所も十分ありますので検討していただいて、もう1つ防災用の倉庫を置けるようにしていただけないかお願いしたいと思っています。

#### ＜後日対応 — 防災安全部総合防災課＞

公園を所管する公園課と今後調整しながら、設置に向けて検討してまいります。

### ＜土橋町内会 伊東氏＞

防災倉庫が土橋の場合は、海岸の近くの公園あります。高波が来た場合は、誰も防災倉庫に行かないと思うのです、海岸には。逆に小学校の方に逃げるので。できれば小学校とかどこかその辺に共同の防災設備とか、倉庫を設けられないかどうかを検討してください。

#### ＜後日対応 — 防災安全部総合防災課＞

「公用地等に自主防災組織が防災倉庫を設置する場合の取扱に関する確認書」により、小学校等の公有地に指定防災倉庫を設置する場合は、各自主防災組織ごとの区域内とすることを原則として運用している。このようなことから、貴組織の区域外に防災倉庫を設置する場合には、私有地かつ他組織が防災倉庫の設置に承諾することで設置も可能です。

### ＜鎌倉市老人クラブ連合会腰越地区 内田氏＞

老人センターを作っていただくという話を聞いたのですが、建物の中を皆さんが使いやすいように相談した上で部屋を作るのか、皆さんから意見をいただいてからやってもらいたいです。老人クラブも各クラブ単位で多いところは100名以上、130名います。20人や30人の部屋を作られても、何か集まれるところがなければ、何にもならなくなる。100人近く入れるような部屋が欲しいのですが。

### ＜鎌倉市腰越地区町内自治会連合会 石井会長＞

この老人福祉センターの件につきましては、説明会をして図面もできていますし、時間の関係もありますので、申し訳ありません。

### ＜神戸町内会 浅井会長＞

ごみの問題で、指定のごみ袋に入れなかったごみがだいぶまだ残っている場合があります。その場合、われわれ地域は非常に狭い場所にクリーンステーションがあるので、残るとすごく汚いのだと、私の方に言うてくる場合があります。

残ったごみを開封すると個人情報の流出だということで非常に困っているわけです。開封して証拠になるものを見つけ、追及した人もいたのですが、それはちょっとやりすぎだからと私もブレーキをかけているのです。地域の皆さんが非常に関心高いので、残されるとどこの家の人か置いていったか私

の方に言ってくるが多々あるので、それは絶対に開けてはならないものか。それと、他の地域の人が捨てていく、それが非常に管理の難しいところで、数値的には減っているのですが、絶対に個人情報だから開けてはならないものか。カラスが食い散らかして、開いているからそこから証拠が出てきたということが言えるのですが、非常に困っています。

**<環境部 石井部長>**

プライバシーの問題がありますので、開封は控えていただきたいと思います。個々それぞれ問題を抱えているクリーンステーションというのはあると思うのです。できれば市の方に言っていただいて、よい対応策を、地域の方と一緒に考えてほしい。他にもいろいろなクリーンステーションがありますので。是非、市の方に状況をお知らせいただき、解決策を考えていくという形にさせていただきたいと思います。

# 付 録

## 当日配布資料

- 1 ごみ減量キャラバン活動中！
- 2 「リユース食器」を使ってみませんか？
- 3 認知症簡易チェックリストをご活用ください
- 4 鎌倉市市政e-モニター登録のご案内